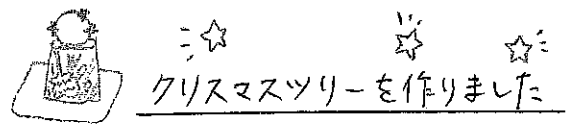




しいの奥ぐみ

12月になり、雪が降る日もありますが、暖かい日差しのある日は戸外に出て、外の空気に触れて遊んでいます。寒いからと暖房の効いた室内で過ごすばかりだと、まだ体温調節が未発達な子どもたちは、体調を崩しやすいです。風邪をひくこともあります。寒さや暖かさを感じて、徐々に抵抗力がつき、丈夫な身体が作られます。今後も保育園では室内では薄着、戸外では気温に合わせて、ジャンパーも活用し、身体を動かし、色々な物を自分で見つける楽しさを、友だちと共に感じていきたいと思ひます。



☆☆☆☆  
クリスマスツリーを作りました

透明のカップにどんぐり、まつぼっくり、木の枝など好きな物を選んで入れ、クリスマスツリーを作りました。指先でつまみ、入れ物にどんどん入れるのが、この時期の子どもたちは好きなので、それをクリスマスツリーにしようと考えました。ところが、いざ始めてみると大人の思い通りにはいきません。カップにどんぐりやまつぼっくりをたくさん入れたと思っていると、ひっくり返し再び空っぽにしてまた入れる子どもや、「(カップに)入れて」と言われると不思議そうな表情で保育者をじっと見つめて動かない子ども... いざカップに入れようと思うと指先がコントロールできず、入れられなくて「ああ〜!!」とうまくいかない思いを、手を左右に動かして、どんぐり等を机にバラバラにします。



何度も遊び、経験することで、ようやくカップに入れることができ、普段の遊びの中では自然にできることも変わってくるのは、しいの奥ぐみにはとても難しいことでした。

これからも絵を描いたり、作る等、色々なことをやってみようと思ひます。そこで子どもたちの成長を感じられたらと思うので、楽しみにしてください。

\* お休みの間も生活リズムを崩さないよう、早寝早起きを続けてください。来年もどうぞよろしくお願ひします。

# しいのみ\*たんぽぽ\*みずぐみ

## 12月 クラスだより

2020.12  
園長 松本 隣 保園

寒さがいぢだんと厳しくなってきましたが、冷たい風にも負けず、毎日元気にあそぶ子どもたちです。この一年を振り返り、それぞれの子もたちが自分のペースで大きく成長したことを感じます。1月も泣いて、笑って元気いっぱい、過ごせることを願っています。

### たんぽぽぐみ

クリスマスリースをつけたよ  
例年ならば、クリスマスまでに制作をする機会がありました。しかし、今年はコロナによる自粛の日があり、クリスマスプレゼントの制作が初めてになりました。今年度は、クリスマスリースも作りました。丸く切ったダンボールに、子どもたちは、緑と黄緑の絵の具を塗ります。夏に、絵の具でめたくりをしたこともあり、手で塗ることにしました。笑顔で大胆に塗る子どもや、ちょっと控えめだったのが、段々乗しくなり、寄せていた眉間のシワがなくなり、笑顔で感觸を楽しんでいる子ども、ちょっと苦手で困った表情をして控えめになっている子どもなど様々です。絵の具が乾くと、葉っぱと松ぼっくりとどんぐりで飾りつけです。葉っぱとどんぐりは、散歩で御旅所に行った時、みんなで拾い集めたものを使います。ボンドが手について、すぐに飾りつけを終える子どももいました。土台が見えなくなるのではなかつたかと思うくらい、いっぱいつけて、納得いくまで制作を楽しむ子どもたちでした。クリスマスリースもお家に飾って、子どもとの時間を楽しんでもらえればと思ひます。



### 夜泣きについて...

最近、「夜泣きするんです」という声も、耳に届くことがあります。1歳半から2歳を過ぎる頃にかけて、寝言を言ったり、夜泣きをしたりすることがあります。昼間の経験が夢に出てきたり、自分の要求が通らなかつたりすることなど、自分の中で納得しきれないことが、寝言や夜泣きとして表れることがあるようです。これは、子どもが成長して記憶力が増したことによる精神面の発達の表れでもあるようです。これまでなかった寝言や夜泣きがあると、心配されるかと思ひますが、子ども自身が納得して行動できるようになると少しづつなくなっていきますので、安心して見守り、成長として喜び、心の余裕が持てるようになれればと思ひます。

### みずぐみ

今年もあと少しで終わろうとしています。今年にはコロナウイルスで限られた行事や生活の中でも換気をし、密をなるべくとらないようにするなど大変な年でもありました。その中でも子どもたちは、いつもと変わりなく笑顔で元気に過ごしていました。12月はクリスマスをたいよう組の子どもたちだけで行ったのですが、何度か聖誕劇を見に行きました。ピエロにあわせてたいよう組の子どもたちが歌っている姿を見て、みず組の子どもたちも生活の中で口ずさみ、動きを真似しているような姿もありました。クリスマスの絵本を読んだ時には、④「赤ちゃん!」⑤「イエスさまって、うんやで」⑥「イエスさま?」とクリスマスの話に興味を持ち、それからというもの、「クリスマスの本がいい」ともう一度読んでほしいことを伝えます。クリスマスプレゼント制作では、ツリーを作り、どんぶりかコップの容器の好きな方から選びます。容器の側面にボンドを使って画用紙やどんぐり、まつぼっくり、実を一つ一つつけました。園庭に出ると、「寒〜い」といっつも、イチョウの木から葉がちらちら落ちてくるのを見ています。落ちていた葉を拾って、「おうちの人の見せたい、おみやげにする」と大事そうに持って帰っています。最近では、友だちとのやり取りの中で「大丈夫?」「貸してあげる」「ありがとう」と少しずつ友だちに対して優しい声かけをしている姿が増え、とても成長したなあと感じます。友だちと遊んでいる中で笑顔があふれます。時には、それぞれの思いが強いため、うまく伝えられずトラブルになってしまうこともあります。そんな時には様子を見守りつつ、お互いの気持ちを聞いて必要があれば代弁し、徐々に相手の気持ちに気づけるようになってほしいと見守っています。29日から冬休みに入ります。年が明け、登園した時には、子どもたちから休みの間の話が聞けることを楽しみにしています。

### イメージを持って...

一人の子どもが「〇〇したで」「〇〇(場所)いった」と言う時、周りの子どもも「いったで」「したで」と自分がしたことのように話していることがあります。心の中で「本当に?」と思ってしまうのですが、2歳から3歳にかけて体験したことばかりでなく、実際に体験していないことも言葉で表現するようになってきます。体験をしていないことを言葉だけで頭の中で想像するのはイメージの世界を形づくり始めていると言えます。絵本を読んでいる時にもこのイメージは大きく膨らみ、きっと頭の中で素敵な想像をしているのではないのでしょうか? 物語、ファンタジー、昔話など様々なジャンルの本をこれからも読んで、子どもたちの反応を楽しみにしたいと思います。

保護者の方には日ごろからご協力のいただきありがとうございます。ございました。来年もよろしくお願ひします。身体に気をつけて、お過ごしください。